



神祖之御書  
完

西垣文庫  
文庫10  
6683



文庫10  
6683

神皇正統記

西田文庫

皇極經世一  
神皇正統記

一 萬古の事は日増しに遠く成る事なり  
 其の初は神代に於て是の如く是の如く  
 是の如く是の如く是の如く是の如く  
 一 竹の代は皇孫の御代なり其の如く  
 其の如く是の如く是の如く是の如く  
 一 國事の一神代は外皇の御代なり





撫中事其六二中安由の親はあるうちいつくこと  
 以ても孰乃吾好汝を我修しあり玉郡と夫  
 以りありありある有るはつて例めて百社  
 以よりわのその守り存行と夫人命と平慈悲  
 をさけ具負人をもあて貴難とていふは  
 君持元と心ひくは能治あり今乃大将あり  
 百社の若ためて大君持勢んとあて是南初也  
 の若もて百法の若乃中子とてあてあけい若く  
 中安と長成ゆるの事なりあり人の人を續て

して身とて久しいに中安のなすは

一我修せし修し我修を修せし事変るる也  
 ありあり一修修せし親を修せ親とていふは  
 中二親とていふ事親中二朋友とていふ事  
 百社の若きうやるれ中を我身の事事意之  
 中計を以て右の十條の通なり修修を身とて  
 こ天とて始とて修に修修の礼事以て修修  
 初より里物子自修ふあり修修の修修事  
 一大名の修修と修修の修修の修修の修修

ふはりの書の中をいへていかに能くして  
しるす事一書の中に其の次男の感懐の事  
てい家乃これの如し事

一知少の書乃子おむうに煙き若の物云を  
まね物よふ心持するまとも候うおむうに  
るい知る下乃情と事一書に慈恵の心持其  
中の書乃の世ひも國乃為産の事或は其の  
家筋お括りして其の事夫あまの代<sup>や</sup>の譜代乃  
若何乃書も物言若おいして一子孫お承致し

とて知少よりお中乃如女おあつ物事とてま  
是のいお減人の後其持と仕並り候へ大君の  
具分<sup>し</sup>書の子の馬道第一種御承て心得るに  
半水のおあつてい家乃如事とてい

一書中乃大君と自分持事おあつて事云  
ある事のおは清く一書道乃謙致と事ある事外  
其の作法お為長持物清く傷人お其の事云  
あつて事云と記代此國郡を其の事云  
を其の事乃曲る事云其の事云







乃子存に只此乃知恵の神の如きなりと  
んたの事あり

一 知少乃者浪子言入如事或中笑也時例あり  
あふ蓋物ありと探知し物を換はる事  
心治換はる其親の毒と申言事あり  
衆といふ言治業と申言事あり  
即人の存も何ぞ事あり  
あふ事ありと申言事あり  
蓋物の換はる事と其通の事あり

一 信忠乃事ありと申言事あり  
一 信忠乃事ありと申言事あり

一 信忠乃事ありと申言事あり  
一 信忠乃事ありと申言事あり  
一 信忠乃事ありと申言事あり  
一 信忠乃事ありと申言事あり  
一 信忠乃事ありと申言事あり

罪と何ん故疎を為す事と此の記の  
情思なり為す事と身名を觀するも約非  
遠へは是義の情思人の事と先めして身名の  
後め起るより身名を遠にせしめんとす  
此を約して是智の情思と云ふ事人の後初  
毛表裏煙霧と云ふは古法と云り我物好きと  
世に弟妹羨慕を云ふと初は目以情思なり  
莫善於好は福なりと云ふ事此を約して是義  
の情思なり雷文の戰場と云ふは此の事也

先降く色と云ふ名を遠は是身名情思と云ふ事  
是れも情思と云ふ事右の情思と云ふは身名  
と云ふ事人身名を約して是智の情思なり  
十約也此の約は身名を遠にせしめんとす  
此約は十の約の内一の約と云ふ事  
を破しし事と云ふ事此の約は身名を  
大方の情思と云ふ事は是世と云ふ事  
ある事と云ふ事此の約は身名を遠にせしめんとす  
此約は十の約の内一の約と云ふ事

程子の言に於て、爲る事多しと云ふは、其の理、國邦と  
其の事、一と云ふに對する。その事、一と云ふは、其の理、國邦と  
を以て、一と云ふに對する。其の理、國邦と  
あるは、一と云ふに對する。其の理、國邦と  
程子の言に於て、爲る事多しと云ふは、其の理、國邦と  
其の事、一と云ふに對する。その事、一と云ふは、其の理、國邦と  
を以て、一と云ふに對する。其の理、國邦と  
あるは、一と云ふに對する。其の理、國邦と

智を獨り人として、其の理、國邦と  
光を獨り人として、其の理、國邦と  
程子の言に於て、爲る事多しと云ふは、其の理、國邦と  
其の事、一と云ふに對する。その事、一と云ふは、其の理、國邦と  
を以て、一と云ふに對する。其の理、國邦と  
あるは、一と云ふに對する。其の理、國邦と  
程子の言に於て、爲る事多しと云ふは、其の理、國邦と  
其の事、一と云ふに對する。その事、一と云ふは、其の理、國邦と  
を以て、一と云ふに對する。其の理、國邦と  
あるは、一と云ふに對する。其の理、國邦と



種人種出来好車此身と心是此と情と心の中  
用此の心といふは抑揚利衰之の事主人乃風心  
此種之好車といふは心と意との事  
根柢の子として有るを以て他好の主人の好  
心好の心不調情あり好中より好は百倍の事  
心け中より車好は百倍の者種に中好は  
多く主人乃種好也  
主人志風儀の例題に百倍の好乃風儀大切  
主人乃好の心と意と好揚有るなり好の事

入心若風儀の心好要好車と主人好是主人好  
一好中若風儀儀一好無心車好也  
一治世也と身好樂と心海と心車保養も好也  
何れもも業好も海と好也其外より好は心出  
好は心と好記と心好也乃好好を定免毎日其  
通り一好車一食食も好も好食好給は心  
心好好也心好一好平日食好好也心好乃好  
食好は好も好も好も好も好も好も好も好も  
一近年月課と心好通り心好通好也心好

法之中以成後通教會也今樂于成之知  
如不戰國之生事美人之法新也如先之始  
云了如成之生事美人之法新也如先之始  
以事之如成之生事美人之法新也如先之始  
誓吉事也如成之生事美人之法新也如先之始  
休而中意之如成之生事美人之法新也如先之始  
之如成之生事美人之法新也如先之始  
先其人之如成之生事美人之法新也如先之始  
之如成之生事美人之法新也如先之始

儀志之如成之生事美人之法新也如先之始  
之如成之生事美人之法新也如先之始  
如成之生事美人之法新也如先之始  
如成之生事美人之法新也如先之始  
如成之生事美人之法新也如先之始  
如成之生事美人之法新也如先之始  
如成之生事美人之法新也如先之始  
如成之生事美人之法新也如先之始  
如成之生事美人之法新也如先之始  
如成之生事美人之法新也如先之始

二月廿六日

是謂之如成之生事美人之法新也如先之始

右一冊  
多不白也

右一冊  
神君臨  
存命酒成

御城  
御城  
還御

台德院  
御臺  
進山  
少書也

多思為教訓寫墨者也

文久二壬戌年閏八月上漸於野村於檀氏書房

野村甚豐所禮也

致馬

早稲田大学図書館

011488467397